



学校だより

いちいの木

学校教育目標

「ふるさと 富士山に 学ぶ子」

重点目標 「いっしょに
一生けんめい」

小山町立須走小学校

令和2年8月号

「+1」(プラスワン)...

「希望の力」を持って一歩前へ

校長 青木元広

本来であれば、今頃、東京オリンピックの歓声が、日本中に響き渡っていたでしょう。しかし、残念ながら、思いもよらない敵が世界中を襲い、その歓声が来年まで持ち越されることになりました。是非とも来年こそ、清々と歓喜の声を挙げられる世の中になってほしいと切に願っています。

オリンピック開催ちようど一年前となった、七月二十三日。新装なった新国立競技場で、水泳の池江璃花子選手が、全世界にメッセージを送りました。その一説を紹介します。

「...逆境から這い上がっていくときには、どうしても『希望の力』が必要です。『希望』が遠くに輝いているからこそ、どんなに辛くても前を向いて頑張れる。...一年後、この場所で、希望の炎が輝いてほしい...」

と、聖火を手元に携えて、力強くメッセージを告げていました。

命に関わる病と闘い抜き、もう一度オリンピック選手として輝きたいという強い「希望の力」を持って、前向きに活動している彼女の言葉は、今の私たちに必要な、心の持ちようを教えてくれるものでした。

電光掲示板には、「+1」と映し出されました。この意味は「二年後へ、一歩進む」ことだと思えますが、私は、単に一年後に向けて歩みだすだけでなく、自分自身の心も一歩前へ前進・発展させることであると思いました。

今、全世界でコロナウイルスと闘う辛い日々が続いています。心に「希望の力」や「希望の光」を持てれば、必ずこの苦境を乗り越えられる日が来ると信じています。池江選手のように、常に前を向いている姿を見習い、須走小の子どもたちも、希望という目標を持ち、心が一歩前へ前進できるように、全職員で支援していきたいと思えます。

「あいさつ+α」

子どもたちの気持ちをより明るく前向きにしたいという思いから、今学校では普段の挨拶に、もう一言加えて、

「あいさつ+α」に取り組んでいます。

「おはようございます。いつもいい声が出ているね。」「さようなら。明日も元気に登校してね。」など、何らかの声掛けを積極的に行っています。

子どもたちからも+αの言葉をたくさん聞けるようになりました。「おはようございます。いつもありがとうございます。」「など、些細なことでも感謝の言葉を付けて話してくれる子が増えてきました。こんなことも、上記の「+1」につながるのではないかと思います。

夏休み中もそんな一言が、家庭や地域で飛び交うようにお願ひします。



7月の様子



富士山集会の様子



2年生 トウモロコシ皮むき



授業の様子 3年生



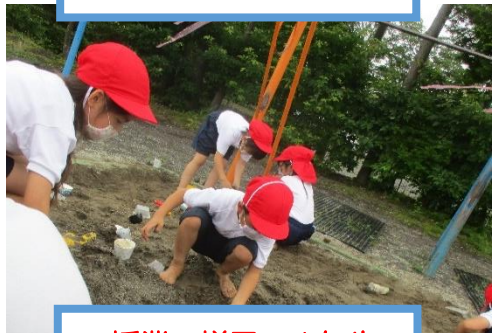
自転車教室 4年生



授業の様子 6年生



給食員のみなさん



授業の様子 1年生



トイレ清掃 ボランティア



ありがとうございます



児童会のみなさん



授業の様子 5年生

もうすぐ、1学期が終わろうとしています。例年とは違う1年のスタートでしたが、子どもたちの頑張る姿が例年以上にギュッと凝縮されていた1学期といえるかもしれません。2学期からも子どもたちの素敵な表情であられる学校となるようにしていきます。